

人にやさしい
古賀市をめざして

古賀復活!



いわい秀一 ひでかず

いわい秀一 ひでかず

…その歩みとその姿。



- 昭和26年2月12日生(64歳)
- 旧宗像郡福間町(現福津市)出身
- 舞の里1区 在住
- 県立宗像高等学校卒業(20回生)
- 第一薬科大学卒業 薬剤師国家試験合格 薬剤師
- 古賀市議会議員(1期4年)総務委員会所属
- 古賀市行政区長会副会長、校区代表区長
校区代表分館長、区長、副区長、分館長
- 古賀市社会福祉協議会理事、都市計画審議会委員
- 家族:妻、子供(1男2女)は独立、孫6人、柴犬1匹
- 趣味:溪流釣り(初級)、韓国語会話(少々)
ゴルフ(下手)、バレーボール(学生時代)、旅行など

「今度は、いわい秀一さんを応援するよ」と励まし、後押しして下さる方が、たくさんいらっしゃいます。大変うれしいお言葉であり、心より感謝申し上げます。しかし私どもは忘れておりません。『千鳥駅のエレベータ設置』、『3号線の右折信号設置』等に尽力した実績がありながら、本人ならびに、我々の力不足により前回、厳しい審判を受けましたことを。4年間、彼は古賀を、くまなく見て回りました。山と海、街を歩き、何かを得て、何かを感じたはずです。その彼がこの度、古賀を復活するとの思いを胸に、再度、市議会議員選挙に出馬する決意を固めました。前回、前々回同様に大変厳しい選挙になることは、まちがいありません。多くの市民の皆さまのご支援をいただかなければ、本当に厳しいのです。お一人おひとりのお力を「いわい秀一」にお貸しください。この「まち」を愛する皆さまの熱いご理解、ご支援を心よりお願い申し上げます。

いわい秀一後援会 会長 今田盛生

いわい秀一 ひでかずは、
約束して
きっちり動きます。

じっくり見ます!

古賀市のすみずみまで、市民の皆さまの
願い、課題をいわい秀一 ひでかずの目でじっくり見て、
確かめ動きます。

しっかり聞きます!

古賀市にお住まいの市民の皆さまの願い、
課題をいわい秀一 ひでかずの耳でしっかり聞いて、
動きます。

はっきり話します!

古賀市を見て、お聞きした市民の皆さまの願い、
課題をいわい秀一 ひでかずは、自分の言葉ではっきり
提言します。



市民の財産 古賀海岸

いわい秀一^{ひでかず}が

古賀市の
復活をめざして

力を入れること

定数削減、更なる議会改革にむけて

現定数から、大幅な定数削減(15~16名へ)
議員歳費の削減(10%以上)
議会開会中の費用弁償の撤廃

安心安全な街づくりにむけて

JR各駅を中心に警察署(交番)の新設
駅前再開発、整備(計画中也含め)
各区の防犯灯設置補助費の増設・増額
バイオマスも含めたゴミ問題、上下水道問題

乳幼児から高齢者、障がい者にむけて

福祉事業、活用について更なる周知
医療費の負担軽減(古賀市単独でも)
義務教育費の無償化にむけた施策
高齢者「憩の家」(仮称)の建設

強い古賀への再生にむけて

商工業の振興や活性化にむけ、予算増額措置
薬王寺温泉を中心とした観光施策を推進
農業、農家、農地を守り、耕作放棄地活用実験
中小零細企業の進出意欲を喚起する土地政策

定住化促進にむけて

効率的な運営、経費削減により、住民負担軽減
ワンストップサービスの導入、文化芸術活動の育成・支援
保育園などの教育施設の再検討、周辺自治体との共同事業等

いわい秀一^{ひでかず}が

人にやさしい
古賀市をめざして

力を入れてきたこと

議会改革、議員定数削減(一名減)

報告書等の簡素化、審議のスピード化
道州制構想に向けた市町村合併構想

千鳥駅にエレベーター設置

国道3号線千鳥パークタウン 入口右折信号設置

ソーラーシステム、防犯灯の設置

校庭の芝生化実施

リーパスプラザ研修棟改築要望、決定

教育施策の35人学級、小学1年プロブレム
中一ギャップ、副担任制支持
新型インフルエンザへの対応、防疫体制要望

古賀インター周辺の開発構想への支持

消防団活動への積極的支援の要望

商工会活動への行政の協力、支援を要望
入札方式の健全化 職員採用試験調査
国土利用計画策定、総合振興計画策定

公共交通システムの検討、調査

都市計画審議委員として玄望園の開発構想

いわい秀一^{ひでかず}の
「古賀市」への想い。



この4年間、日々、勉強と反省の毎日と言え、聞こえは良いのですが私なりに、古賀を見つめながら過ごしてまいりました。舞の里一区長、舞の里校区代表区長、古賀市行政区長会副会長、社会福祉協議会の理事を経験させていただき、視点や立場が変わることにより、見えにくかったことが見えるようになり、得るものが多かったように感じています。その中で、特に私が感じたことは、「何かおかしい…このままでは古賀が、埋もれてしまう」ということでした。例えば、近隣自治体では大規模開発により、人口が増加、税収も増やしている中、古賀は何も変わっていないのでは、と感じておられる方も、たくさんいらっしゃると思います。確かに、財政的に人口の増加は、望ましいことですが、難しいのが現状です。また、古賀単独で、ものごとは進まないことも、受け止めておかねばなりません。一つではなく、多様な問題をかかえたわが町かもしれませんが、今まさに温故知新です。この街に住む多くの方が、心安らかに暮らせる「ほどほどな田舎」であることが最善ではないでしょうか。古賀の緑の山々を眺めながら、こども達に自然あふれる、ふる里を残したい。まだ住んで間もない方々が、ここをふるりにしよう、と思う…そのような願いを込めて、再度、議会への道を歩む決意をいたしました。先人たちが残した大きな遺産をより大きく発展させるため、古賀の復活と再生に取りくまねばとの思いを、強くしております。なにとぞ絶大なるご支援を賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

古賀復活! いわい秀一^{ひでかず}

平成27年2月 いわい秀一後援会 会長 今田盛生
〒811-3113 古賀市千鳥6丁目11-1 (平成27年3月開所)